

支援対象競技会：Black Pool Dance Festival

2019

出場部門：オープンラテン

永島啓矢・宮崎佑希組

この度は j. a. l 様より、遠征のご支援を頂き 2019 年度のブラックプール(イギリス)で行われました全英選手権に出場いたしました。本大会出場は私たちの夢であり、大変貴重な機会をいただいたこと、感謝しております。

私たちは約 1 年前にカップルを結成し、昨年のイーストジャパン選手権にて、今回のような機会をいただくことができました。

今回はイギリスに 6 日間滞在し、アマチュアオープンラテンに出場いたしました。

初めての海外遠征でしたが、押川・和田組をはじめとする社会人ダンサーの皆様のお力により、トラブルなく過ごすことができました。

以下に本大会出場までの道のりと、大会に出場して感じたことを書かせていただきます。

■出発前（試合へのエントリー）

試合にエントリーする方法は様々ありましたが、私たちは WEB エントリーを選びました。

ブラックプールのサイトにアカウントを作成し、サイトからエントリーをしました。エントリー用紙を印刷し、郵送する手間もなく、スムーズなエントリーでした。

エントリー後は登録した住所にチケットが届くのですが、トラブルにより私たちにチケットは届きませんでした。しかしながら、出発までにブラックプールの事務局と e メールにてやりとりを行い、現地でチケットを受け取ることができました。稚拙な英語でも、頑張っやりとりした甲斐がありました。

■滞在中

現地の気温は低く寒かったため、冬用の上着で丁度いいくらいでした。

私たちのホテルは試合会場(ウィンターガーデン)まで歩いて行ける距離でした。そのため、1 度ホテルに帰りフォーマルな服装に着替える等の便利さがありました。

練習は試合会場のメインフロアとサブフロアを主に

使っていました。試合を観戦するためのチケットを購入すると、試合会場内で練習することができます。日本人がほとんどいない、自分たちよりもずっと上手い選手の中で練習することはとても刺激になりました。

また、試合会場ではドレスやシューズ、練習技、メイク道具など日本ではなかなか手の入らないものも売っており、後期の試合に向けてそろえることができました。

■競技会について

アマチュアオープンラテンは約 350 組の選手がエントリーしており、1 次予選に出場するための予選会があります。1 ヒートに約 30 組のカップルが踊るため、自分たちの踊るスペースを確保することがとても大変でした。私たちは予備予選で落ちてしまい、とても悔しい結果となりました。

ラウンド数やヒート数が多いため、私たちと海外選手との違い、落ちる選手と上がる選手との違いをじっくり観察でき、とても勉強になりました。

日本の国際試合は本大会に比べ、海外選手の出場が少なく、特定の選手の踊りを見てしまい、自分自身や日本人ダンサーと具体的に何が違うのかを比較することができていませんでした。スケールの大きな踊りや、音楽をしっかりとりとらえた緩急とアクセント、カップル間で当たり前の様に行われるスムーズなリード&フォロー。さらには踊っている時の姿勢まで、「ここまでやらなければ見えてこない」というエグイ体の使い方を感ずることができました。

今後、私たちがレベルアップするための方向性が見えたと思います。

■最後に

今回世界のハイレベルな踊りを間近で感じ、感動と同時になんとも言えない悔しさを覚えました。

今回学んだことを生かし、レベルアップし、また再度チャレンジしたいと考えております。

また来年もチャレンジできるよう日々練習を頑張っ参ります！